

グループ名 ・代表者名	eシフト： 脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会	助成金額	80 万円
連絡先など	info@e-shift.org 、03-6907-7217 eシフト事務局 (FoE Japan 内)		
助成のテーマ	エネルギー基本計画の課題分析、市民版エネルギー基本計画の策定 および社会ムーブメントづくり		

【調査研究の概要】

- 1) エネルギー政策の現状・課題・今後の動向について分析を行う。
- 2) 国会議員や政策担当者、専門家との対話（公開・非公開）、勉強会、提言を行う。
- 3) 原子力発電推進を柱としたエネルギー政策から、省エネルギーと自然エネルギー利用推進によって脱原発を実現する方向性を明確に示す市民提案の取りまとめを行う。
- 4) 効果的にわかりやすい情報発信に努め、公開シンポジウム・セミナー・市民フォーラムの開催やウェブサイトでの情報発信、メディアリリースなどを通じて社会ムーブメントづくりを行う。

【調査研究の経過】

- 2011 年 4 月：eシフトスタート。議員会館勉強会開催等。（～6 月）
- 6 月：6・4 シンポジウム開催、6・11 脱原発全国アクション、eシフト「市民委員会」スタート。
エネルギー政策検討プロセスに関してロビー活動。（～7 月）
- 7 月：再生可能エネルギー促進法成立に向けたロビー活動。（～8 月）
「市民版エネルギー基本計画」検討開始。
- 8 月：「エネルギーシナリオ市民評価」開始。
- 9 月：9・18 脱原発シンポジウム開催。9.11-19 脱原発アクションウィーク開催。

【現在までの成果と今後の展望など】

- ・ シンポジウム、イベント、アクションに、一般市民の参加を多数獲得。
- ・ 政治に対して要請・提言やアクション等、タイムリーな働きかけを行っている。
- ・ 現在、エネルギー政策見直しへの市民提案「市民版エネルギー基本計画」を年内を目処に取りまとめ、新しいエネルギー政策の実現に向けて今後これを政治や市民に広くアピールしていく。

資金計画の概要（金額単位：千円）			充当する資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	議員勉強会講師交通費（15 万円） 都内交通費（6 万円）	210	160		50
資料費	参考資料等	50			50
機材・備品費					
会議費	シンポジウム会場費（10 万円） フォーラム会場費（10 万円）	200		100	100
印刷費	資料・ちらし印刷費（55 万円） 市民提案印刷費（10 万円）	650	210	100	340
協力者謝礼など	勉強会・シンポジウム講師謝金（54 万円） デザイン等謝金（6 万円）	600	150	300	150
外部委託費	海外事例調査委託費	200	100		100
その他	アルバイト人件費（35 万円） 事務管理費（10 万円）	450	180		270
合 計		2,360	800	500	1,060

参考文献（ウェブサイトや書籍、成果物など）

- ・ eシフトウェブサイト <http://e-shift.org>

eシフト: 脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会

eシフトとは、

2011年3月11日の福島第一原発事故を契機に、脱原発と自然エネルギーを中心とした持続可能なエネルギー政策を実現させることを決意した、団体・個人の集まりです。

- 1 「事故被害の最小化」と「責任所在の明確化」
- 2 「脱原発と持続可能なエネルギー政策に向けた政策提言づくり」と「その実現」
- 3 「市民への有益な情報発信」と「社会的ムーブメントの巻き起こし」

の3つの分野で活動を展開しています。

さまざまな団体の立場の違いを乗り越え、お互いの長所を活かしながら、本当に豊かで安心できる持続可能な社会を作るための大きなうねりとなっていくことを目指しています。そのため、固定的な組織体ではなく、緩やかなネットワークによる活動母体として機能していきたいと思っています。

<http://e-shift.org>

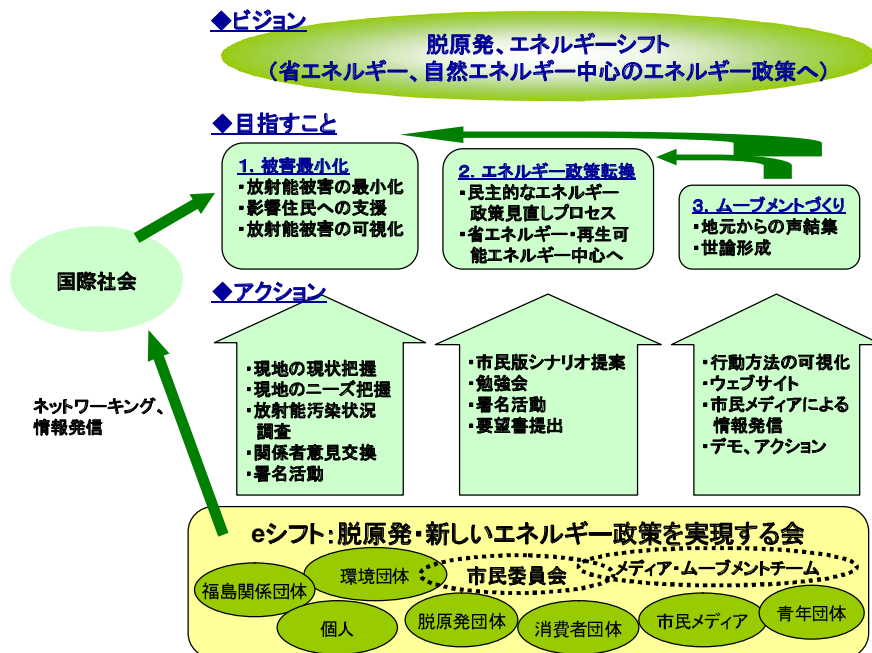


参加団体 (2011年9月現在、約60団体+個人、全体約180名)

- | | |
|---|--|
| FoE Japan
エコロジャパンインターナショナル
環境エネルギー政策研究所 (ISEP)
環境市民
環境文明21
気候ネットワーク
グリーンアクション
グリーンピース・ジャパン
原子力資料情報室 (CNIC)
原子力禁止日本国民会議 (原水禁)
大地を守る会
地球環境と大気汚染を考える全国市民会議 (CASA)
WWFジャパン (公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン)
A SEED JAPAN
THE ATOMIC CAFÉ
特定非営利活動法人 APLA
R水素ネットワーク
インドネシア民主化支援ネットワーク
エコロ・ジャパン・インターナショナル
GAIAみみをすます書店
環境まちづくりNPOエコメッセ
原発廃炉で未来をひらこう会
自然エネルギー推進市民フォーラム | 市民科学研究室
持続可能な地域交通を考える会 (SLTc)
水源開発問題全国連絡会 (水源連)
高木仁三郎市民科学基金
地球の子ども新聞
東京平和映画祭
東京・生活者ネットワーク
ナマケモノ倶楽部
日本環境法律家連盟 (JELF)
日本消費者連盟
日本ソーラーエネルギー教育協会
ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン
No Nukes More Hearts
フクロウの会 (福島老朽原発を考える会)
フリーター全労組連合
ピースポート
ピープルズプラン研究所
ふえみん婦人民主クラブ
福島原発事故緊急会議
みどりの未来
メコン・ウオッチ
ワーカーズコープ・エコテック |
|---|--|
- ほか

これまでの活動

- 4月 eシフトスタート、戦略会合開催 (月1回程度)
議員会館勉強会開催等 (~6月)
- 6月 6・4シンポジウム開催
6・11脱原発全国アクション
現行エネルギー政策の課題整理
eシフト「市民委員会」スタート
エネルギー政策検討プロセスに関してロビー活動 (~7月)
- 7月 再生可能エネルギー促進法成立に向けたロビー活動 (~8月)
「市民版エネルギー基本計画」検討開始
- 8月 「エネルギーシナリオ市民評価」開始
- 9月 議員向けエネルギー政策勉強会開催
9・18脱原発シンポジウム開催
9.11-19脱原発アクションウィーク開催



1. エネルギー政策見直しに向けた課題分析

これまでのエネルギー政策

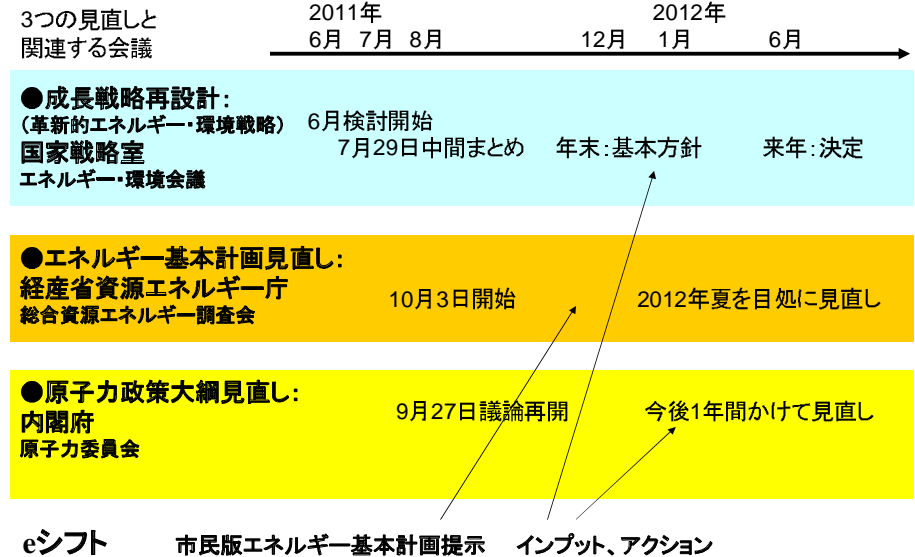
- 原子力発電の3つの神話
「経済性」「安全性」「クリーン」
- 経済産業省主導によるエネルギー政策決定
(原発推進、化石燃料の二本柱)
- 電力会社の地域独占、一極集中

改革の必要性

～事故をふまえて～

- 原発神話からの脱却
- エネルギー政策策定プロセスの見直し
- 国民的議論
- 中長期のビジョン(省エネ、自然エネルギー)
- 分散型自然エネルギー

2011～2012年 エネルギー政策見直しのプロセス



エネルギー政策見直しにeシフトが求めること

(1)透明性の確保

どのような経緯、理由づけで政策を見直し、検討し、新たに策定しているのかを国民が知ることが出来るよう、インターネット中継なども利用し、議論はすべてオープンとすること。

(2)情報公開

さまざまな関心や専門知識を有する国民による検証が可能となるよう、会合で用いられた資料、及び、検討過程で参考にしたデータや資料も全て公開すること。

(3)国民参加の民主的なプロセスを

国民にとって重大な関心事であるエネルギー政策は、社会を構成するメンバーが公平に参加し、しっかりと深い議論を行うことができる、民主的な意思決定プロセスで決定すること。とりわけ、現在までのエネルギー政策をつくってきた構成要員のみならず、新たなエネルギー政策の対案を提案する団体、および、専門的知見を有する市民団体からの代表を含めること。

2. 議員へのアプローチ、セミナーの開催

• 院内セミナーの開催

- 4月19日 原子力発電のコスト
- 5月19日 福島被害の現状
- 6月21日 エネルギー政策策定プロセス
- 9月15日 マイクログリッドによる分散型エネルギー

• プレスリリース、声明等

- 6月10日 エネルギー・環境会議のあり方に関する声明発表
 - 6月17日 同要望書提出
 - 7月25日 再生可能エネルギー促進法制度設計に関し要請
 - 8月3日 原子力損害賠償支援機構法に対する声明発表
 - 9月20日 エネルギー基本計画見直し体制に関する声明発表
- ほか

3. 市民提案の取りまとめ

eシフト市民委員会

◆目的

- エネルギーシフトに向けた市民団体としての共通提案を取りまとめ、政治への反映を目指してアプローチする。
- 同時に、メディア・ムーブメントチームと協働して市民に働きかけ、世論喚起を行う。

◆活動内容

- 市民提案の取りまとめ
- エネルギー政策策定プロセスの透明化・市民参加提案
- 市民が参加できる枠組みづくり

◆当面の重点課題

- 1) エネルギー政策策定プロセスへの提言
- 2) 「市民版エネルギー基本計画」の取りまとめ
- 3) 「エネルギーシナリオ市民評価」の取りまとめ

「市民版エネルギー基本計画」

- (1) 自然エネルギーを飛躍させる
- (2) かつてない水準での省エネルギーを達成する
- (3) 原子力発電所を着実に廃止する・既存原発の運転停止および廃炉プロセスの管理
- (4) 化石燃料依存から脱却する
- (5) 分散型エネルギー社会を構築する
- (5) 電力システムの抜本的な改革
- (6) 産業としてのクリーンエネルギー技術を育成・輸出し、同時に雇用を創出する
- (7) コストを根本的に見直す
- (8) 政策決定プロセスに市民がより参画できるようにする

4. ムーブメントづくり

・シンポジウムの開催

- ・6・4シンポジウム「これからの未来の話をしよう」
- ・9・18脱原発シンポジウム「こうして作る！ 原発のない社

・ウェブサイト、ツイッターなどによる情報発信



各個人から、声をあげる

・ロビーマニュアル

団体名	役職	連絡先
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200
脱原発推進市民連合	代表	TEL 03-5524-7200

・脱原発全国アクション